

門司港地域複合公共施設整備における建設工事費等について

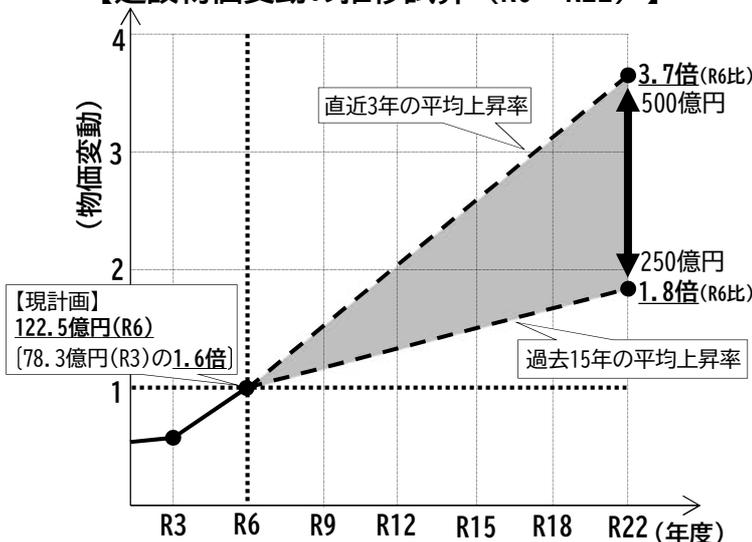
- 現計画の建設工事費の見込みは以下のとおり。
- ただし、建設物価の上昇は進行中であり、今後変更の可能性もあり得る。

	建設工事費	建設着手年度	維持管理費の削減効果
【現計画】 ⇒R6年6月議会の補正予算案※ ※R6補正予算の債務負担額123.3億円は、工事監理委託費を含む	122.5億円	R6	▲1.6億円/年

- なお、参考として、一部から提案されている遺構の全面保存、遺構の現地一部保存を行った場合の建設工事費の試算は以下のとおり。（上記と同様に建設物価の変動の影響を受ける）

	建設工事費	建設着手年度	維持管理費の削減効果
【参考①：遺構の全面保存】 ⇒既存施設を改修した後、将来的（約15年後）に個別建替	300億円～550億円 $\left[\begin{array}{l} 50\text{億円} \\ \text{改修} \\ \text{【R7～R9】} \end{array} + \begin{array}{l} 250\sim 500\text{億円} \\ \text{個別建替} \\ \text{【R22～R24】} \end{array} \right]$	R22頃	無
【参考②：遺構の現地一部保存】 ⇒現計画を活かしつつ、鉄道遺構の一部との共存を図る場合	200億円～250億円	R9頃	▲1.6億円/年

【建設物価変動の推移試算（R6～R22）】



【他都市の建設工事費動向（庁舎等建替）】

都市名	①当初計画【R2～R3】	②現時点【R5】	③上昇率【②/①】
小金井市（東京都）	84億円	115億円	1.4倍
江戸川区（東京都）	390億円	590億円	1.5倍
南九州市（鹿児島県）	40億円	57億円	1.4倍